

遺伝性血管性浮腫に関わる遠隔相談検証事業のお知らせ

このたび、希少疾患である遺伝性血管性浮腫の診断、啓発を目的とする「一般社団法人 遺伝性血管性浮腫（HAE）診断コンソーシアム（DISCOVERY）」より本学会に、ICTを用いたHAEの遠隔相談事業の検証協力の申し入れがあり、理事会で協議しました結果、希少疾患に関わるICTによる遠隔相談の可能性に寄与するという観点から、医療連携委員会が担当して、検証事業を行うことになりました。具体的には、DISCOVERYより委託された株式会社 インテグリティ・ヘルスケア様が開発したYaDoc Quickシステムを活用して、会員の先生と遠隔相談の検証を行います。詳細につきましては、会員専用サイトにてご案内しております。ご趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますと幸いです。遺伝性血管性浮腫ならびに、コンソーシアムにつきましては、本学会HP上の一般社団法人 遺伝性血管性浮腫（HAE）診断コンソーシアム（DISCOVERY）のバナーより、同法人のサイトにて、詳細をご覧ください。

医療連携委員会 委員長 田中 彰